

平成31年4月21日執行 和光市議会議員一般選挙(定数18)

和光市議会議員選挙公報

和光市選挙管理委員会

世代間で不公平感の無い社会保障費用の応分の負担と給付を目指し、制度や習慣による弊害の解消と、特に学童保育の問題に取り組めます。

1.子育て支援の拡張(優先順位の見直し) 2.実効性のある受動喫煙対策の実施

1.子育て支援の拡張(優先順位の見直し)
インフルエンザの補助はなぜ高齢者だけなのですか？
集団生活を余儀なくされる園児・児童こそ必要です。
仮に集団接種が実現すれば保護者の負担も減ります。

2.実効性のある受動喫煙対策の実施
家庭内での親の喫煙は止められません。3歳児検診で尿検査の際に尿中コチニン測定を追加すれば、子供の被害が可視化されます。

3.会社員でも議会に参加(夜間議会等) 4.超高齢社会の高負担・低福祉の準備

3.会社員でも議会に参加(夜間議会等)
立候補しないのは個人の問題ですが、立候補できないのは制度の問題です。多様な職種への参加は、議員の競争を促し、資質の向上が期待できます。

4.超高齢社会の高負担・低福祉の準備
日本は深刻な超高齢社会。インフラも老朽化。財政破綻を避ける為、福祉縮小と全世代で応分の負担が必要です。高福祉・低負担の維持は不可能です。

自分自身の問題として、学童保育の拡張と質の維持に取り組むたいので立候補しました。その為の機会を与えて下さい。プランと結果責任の取り方はWEBで！

略歴・近況・資格等

昭和48年4月21日生まれ
日本大学 理工学部 物理科卒
家族構成は会社員の妻と保育園に通う5歳の息子と3歳の娘

1度転職し、その後18年間民間企業勤務。議会選挙活動を鑑み平成31年3月31日付けて退職

資格等
防災士
日商簿記2級
情報処理2種
ホームヘルパー2級



つるた としひさ
鶴田智久
無所属



**35歳
4児の父親**

私は現在35歳、4児の父親として子育て奮闘中です。同じような立場の子育て世代の代表として、市政に新しい風を送りたいと考えました。和光市がもっと暮らしやすい街になるように、様々な課題、問題を市民の皆様と同じ目線で共に考え、その想いを和光市政に届けるために、和光市民の声を形にします。

**ふくむろたける
プロフィール**
●昭和58年練馬区生まれ
●調理の専門学校を経て飲食店に就職
●平成25年会社設立
●日本政策学校2期生
●家族構成:妻と双子を含む4人の子ども

若い力と、行動力で取り組みます！

安心して子育てできるまちづくり

- 1 市内狭あい道路、通学路の歩道整備や信号機の設置**
- 2 待機児童の解消や放課後児童対策の推進**
- 3 妊娠・出産・育児のためのきめ細やかな費用支援**

3ふくむろたける 3つの約束

- 1 自分の足で市内を回り地域の身近な問題を考えます！**
- 2 駅に立ち街を回って顔の見える活動を行います！**
- 3 課題・問題を解決するためにいつでもどこでも動きます！**



無所属
ふくむろたける

高齢者に優しいまちは子どもにも優しいまち

① 健康と福祉の視点から、まちづくり。
高齢者も増える和光。小まめなバランスのとれた支援施設のあるまちづくり。高齢者年代で介護を受けない元気な、日本のまちづくり。白子地区に気楽に介護の相談をする場・介護をバックアップのする所の設置。

② 晴行両学で楽しめるまちづくり。
晴れた日は色々な活動や行事参加、雨でも学ぶ場がある楽しめるまちにする。和光発見・食べる・一服・ミニ展示場・ミニ博物館などの「寄り道の駅」があるまち。歩く・生活に使う人が安心する、ユニバーサルデザインが徹底したまちづくり。6M以下の市道は歩行者・自転車優先の和光モデルを作る。

③ 技術革新を学ぶことが出来るまちづくり。
「教えるから学ぶへ」子供たちがモノづくりや技術開発に取り組めるようなまちづくり。土器・蒸気機関・ガソリン機関・電気自動車・ロボットなど和光の財産を活用して、子供が「興味から学ぶへ」と楽しくまちづくり。

④ 自然を取り戻す水循環システム
TV「アド街ック天国」で和光が紹介されました。他県の友人から、いままちと言われました。誇らしくも、選んで良かったの思いもあります。しかしながら徐々に減少方向にあります。自然の成り立つ基本「水の循環」を構築へ。湧き水を側溝排水する様な邪魔者扱いはいりません。雨が降り、地下水となり、湧きとなり、ミニオトーシステムを作り、地域で楽しんだ後に、白子川へ。これが、水循環システム。白子の親しめる水環境作りを計る。

⑤ 和光の「地域主権」があるまちづくり。
(住み易さ・暮らし易さは、地域の個性を活かした生活圏づくりがポイント) 高齢者を含めて、食品・生活必需品が小まめに買えることが出来る地域づくり。地域の地理的条件・道路事情に合った減災・防災対策をつくる。市道の道路規制、占有権、交通権を地域活動優先に計る。

「いい、和光」と言われるまち。白子地区新倉地区・下新倉地区・本町地区・南地区 それぞれの顔を活かした地域づくりから選ばれ、誇りに思えるまちづくりをします。



無所属
西川まさはる

子ども、高齢者にとって安心安全な環境づくりのために行動します！

市民の思いを結集した、学校・地域・家庭の連携・協働で子どもたちの育成環境推進！

子どもが安心して過ごせる居場所づくりを推進し、学校の放課後の居場所を地域の中で支えていく取組へ！教育格差の是正を目的に、放課後教育の新たな提案を行います。

若者世代や子育て世代が安心、安定して生活出来る環境作り！

仕事世代が安心して暮らせる環境作りを目指し、保育園・学童保育の充実や保育士・幼稚園教諭、学校教職員等、先生・指導員の働き方の改善し教育の『質』向上から、安心と安定した子育て環境の整備を行います。

高齢者や障害者などすべての方が安心できる共生社会の実現！

福祉施設の拡充はもちろん、道路や交通、住居などの社会インフラの中で全ての方が遠慮することなく自由に行動し、安心して生活出来るようハード面での環境整備、世代を超えて助け合える状況が作れる取組を行います。



鈴木敬二郎
けいじろう

すべての世代が住みやすい和光(まち)へ！

(この公報は候補者から提出された原稿をそのまま複製して印刷したものです。)

平成31年4月21日執行 和光市議会議員一般選挙(定数18)

和光市議会議員選挙公報

和光市選挙管理委員会

“人がまちをつくる” “まちが人をつくる”

あなたの一票が和光市の未来をつくる

<http://www.takechan-yoshida.jp>



吉田たけしプロフィール

昭和36年4月21日 和光市 下野会生まれ

家族構成
本人と妻、3人の子ども、孫のいる大家族です。愛犬ととろろに日々幸せに暮らしています。

趣味
ウォーキング、ロードバイク、登山、ライオンパークの富士山登山には、毎年必ず参加しています。

心掛けていること
地域の皆さま一人ひとりの笑顔に目を向け、笑顔が溢れる和光市を、より良い街づくりを目指して活動しています。

経歴
平成23年市議会議員選挙にて初当選
現職
平成23～25年 総務部常任委員会委員長
平成25～26年 文書管理課長
平成27～29年 議会運営委員会委員長
平成29～現在 文書管理課長
平成29～現在 議会運営委員会委員長

吉田たけし 和光市政展望 (4つの柱を基本とする政策)

- 歴史・自然**
残りの少ない湧き水や緑地空間をその自然を保護
牛車山遺跡をはじめとする和光市の歴史文化を保護
- 都市整備**
和光市駅北口、和光北インター東部地区の各区域画整理事業を推進
国道254号和光見台バイパスの東部方面への接続に際し、適切なロードを推進
バリアフリーを推進する公共交通網の充実
- 地域経済**
観光PRや農産物のブランド化、6次産業化を推進
地域農業の活性化を図り、体験農園システムを拡充
- 福祉**
病児保育施設をさらに充実させ保護者の就労を支援
地域と行政が一体となった高齢者介護・障がい者障がい児支援の推進
女性の産前・産後ケアを充実させ、出産を支援
- 域社**
世代を超えた交流が促されるコミュニティ作りを推進
バリアフリーの街を目指し、公共交通網を整備
子どもたちが安心して遊べる公園を整備
安心して歩ける道路の整備
警察と地域が連携し防犯対策の強化
- 教育**
新倉・下倉地域における中学校の早期建設を推進
待機児童ゼロを目指し、保育所の新設や夜間保育の整備を推進
保育園の短時間保育や小中学校での
放課後の子どもたちの居場所を
小学校の子どものつくり成長を支援

和光市政を耕す

2017年、初当選して頂いてから2期年間、吉田たけしは「和光市政を耕す」を掲げ、様々な課題を解決し、和光市をより良い街にしようと努めています。また、和光市をより良い街にするためには、市民の皆さんが市政を耕すことが大切です。和光市をより良い街にするために、全力を尽くしてまいります。



無所属
57歳
吉田たけし

あなたにこたえる 伊藤たえ子



伊藤たえ子
公明党公認 新人

私は、和光市青少年育成推進員を5年務め、青少年の健全な環境づくりを担いました。息子3人の子育て、第五小PTA役員、高齢者・障がい者施設でのボランティア経験を生かし、子どもから高齢者まで、安心して暮らせる和光をつくりまします！

たえ子のこたえ(政策)

- 子どもが希望を持てる教育環境を作ります
 - 災害時には避難所になる、小中学校体育館・特別教室にエアコンを設置。
 - いじめや不登校対策に、小中学校で、生命の大切さを学ぶ授業を実施します。
 - 親子で地域への愛着をばぐくむ、学習機会を作ります。
- 子どもから高齢者まで安心して暮らせる和光に
 - 高齢者に、振り込め詐欺を撃退する「自動通話録音機」を無償貸与。
 - 介護予防拠点の活用で、健康で元氣な高齢者を増やします。
 - 児童虐待根絶へ対策強化。地域ぐるみで子どもを犯罪から守る意識啓発。
 - 通学路の交通安全対策を実施します。
 - バリアフリーの推進で、障がい者も快適な生活環境を整備します。
- 誰もが住みよい和光
 - 駅北側を、緑あふれる農業と産業共存の街にします。
 - 地区社協や自治会の活性化で、コミュニケーションあふれる街づくり。

とみざわ かつひろ

プロフィール 昭和29年3月6日生。和光市立白子小学校・大和中学校を卒業。現在まで、和光市に在住。

大学卒業後、昭和53年4月和光市役所入庁総務部税務課に配属。財政課長・農業委員会事務局長・市民環境部次長・市民環境部長・教育部長・監査委員事務局長・議会議務局長を歴任し平成26年3月定年退職。退職後平成31年3月まで一般財団法人和光市学校給食協会事務局長。

サッカー関連 現役職
FC和光イレブンスポーツ少年団代表・監督
和光市少年サッカー連盟会長・埼玉県北足立南部第4種少年サッカー連盟副会長・埼玉県南部地区少年サッカー連絡協議会事務局長、埼玉県少年サッカー連盟理事(南部地区代表委員)、財務委員長。

次世代の子どもたちのために

世代間の垣根を超えた One for all, all for one. スポーツ推進計画の推進

待機児童の解消、保育所の整備、保育士の待遇改善、放課後の安全・安心な子どもたちの活動拠点を設け、地域社会の中で、心豊かに育まれる環境づくりを推進するため、放課後の児童の居場所づくりとして「わこうこうクラブ」子ども教室」を推進します。

従来型の地域コミュニティの良さを継承し、全ての住民が安心して暮らせる街づくりを進めていきます。

失われつつある和光市本来の良さを再確認し、長年の行政経験を活かし、新旧住民が融合した、各世代が過ごしやすいバランスのとれた街づくりを進めてまいります。

和光市を愛し、和光市に生きていきたい、市民への尊敬を忘れず、本来の和光市の良さを再認識した街づくり。

めていくが、市民目線の市政運営の実現に向け、本来の使命を忘れず議員活動を行って参ります。和光市で生まれ育った人間として、和光市・和光市民のために頑張ります。

次世代を担う子どもたちが育つため、安心して子育てができる環境づくりや子ども居場所づくり



とみざわ かつひろ
無所属

子育て 老後も 安心の和光市に

和光市議会に送り出して頂き、この4年間、介護福祉士の経験を活かし議会でも取り組んできました。いま、国政でも市政でも、命とくらしが脅かされる政治が続いています。「弱い立場の人にこそ政治の光を」との思いを胸に、全ての人が安心して暮らせる和光市実現のために、みなさんと力を合わせて頑張ります。

子育てと教育の負担軽減

- 18歳までの医療費無料化
- 公立保育園の削減中止
- 学校給食の無料化
- 義務教育の保護者負担軽減

安全・安心まちづくり

- 体育館へのエアコン
- 地域の防災対策強化
- 傾斜地の緑地保全推進
- 歩行者の安全確保に向けた道路整備
- LGBTの公的認証制度の創立

社会保障の充実

- 国保税の引き下げ
- UR再開発跡地への特養の建設推進

みなさんと力を合わせて頑張ります！
消費税10%ストップ
高すぎる国保税引き下げ

鳥飼 まさし

経歴
○1979年和光市新倉生まれ○筑波大付属板戸高校卒
○東京福祉商経専門学校卒○介護福祉士○文庫厚生常任委員



鳥飼 まさし
日本共産党

(この公報は候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです。)

平成31年4月21日執行 和光市議会議員一般選挙(定数18)

和光市議会議員選挙公報

和光市選挙管理委員会

みんなで子育てをする、災害に強い、キラキラと輝く和光市をつくります！

自衛隊出身です



うちやま けい い こ

防災士

内山けいこのプロフィール

- ◎昭和34年9月6日生まれ(おとめ座)
- ◎和光市在住
- ◎陸上自衛隊33年間勤務
(市ヶ谷・防衛省の情報関係業務)
(朝霞・女性自衛官教育隊の教官など)
(東部方面通信群で現場の部隊長)
- ◎家族 夫、長男(会社員)、二男(大1)、三男(高2)
- ◎趣味 茶道、華道、書道、ラジオ体操、ウォーキング、ベリーダンス

生き生きと！
高齢者や障害者も
安心して暮らせる町



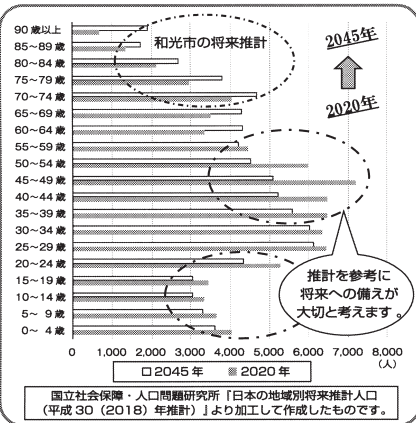
キラキラと！
災害に強く、
活気に
あふれた町



伸び伸びと！
子供たちが伸び伸びと
成長できる町



だいすき！ 和光市



子どもたちの視点に 立って考え、行動します!!

国民 **こく** につくろ
民主 **みん** 新しい答え。
Democratic Party For the People

- **人がかがやくまちづくり**
 - ・笑顔をはくむ子育て環境づくり
 - ・多世代交流で文化と伝統の継承
 - ・外国人居住者との交流
- **安心・安全なまちづくり**
 - ・健康づくりの保健と生活機能維持の介護
 - ・防災・減災の知識普及、互助と人づくり
 - ・循環バスなど市内移動のバリアフリー
- **人づくり・交流のまちづくり**
 - ・誰もが個性と能力を活かせる教育環境
 - ・友好都市・姉妹都市とのつながりづくり
 - ・小規模店舗の振興、利便性の確保
- **行政と市民の協働のまちづくり**
 - ・公共施設の維持更新と適切な活用
 - ・行政情報提供と課題の共有で協働の解決
 - ・偏りない分析と将来見通しの提示

すがわら 満のプロフィール <http://www.suga-man.net/>

1958年(昭和33年) 埼玉県秩父市生まれ 都立豊島高校卒 / 成蹊大学法学部卒 / 民社党本部
1999年(平成11年) 山梨学院大学大学院修士課程修了
1991年(平成3年) 和光市議会議員、連続7期目 和光市監査委員 / 朝霞地区一部事務組合議会議員 歴任
現在: 文教厚生常任委員、和光市監査委員、(公財)富士社会教育センター客員研究員 / 国民民主党埼玉県連副代表

少子・高齢化の中、和光市では、地理的・交通環境という恵まれた条件により、開発が進み人口も増えています。しかし、今後和光市でも少子・高齢を迎えます。また、厳しい財政状況下にあります。市制50年、現在の与えられた恵みのうちに、将来への土台づくりを考え、まちづくりに取り組めます。



国民民主党公認 連合埼玉推薦 すがわら 満 菅原 みつる

健全で持続可能な財政へ全力投球!!

平成元年には基金が潤沢で借金も少ない豊かな財政を誇った和光市ですが、今では借金は2倍以上に達し基金もわずか。まちづくりの活性化と行政改革で財政を立て直します。

- (まちづくり)
- ・駅北口土地区画整理事業の和光市駅北口駅前整備は地権者主体のまちづくりでスピードアップを。
 - ・北インター東部地区土地区画整理事業は無電柱化と午玉山遺跡の観光資源との相乗効果で魅力あるまちづくりを。
 - ・建物の容積率と高度制限を緩和し、市内の土地の利用価値を高めることをめざします。
 - ・遊休している丸山台外環広場を駐車場として整備します。
 - ・市内の危険交差点に監視カメラを設置して交通事故を防ぎます。
- (健康和光)
- ・受動喫煙防止条例の制定で喫煙や受動喫煙による健康被害のな

- ・いクリーンな和光市。
 - ・特定健康診査の普及促進で市民の健康長寿を図ります。
 - ・入院から在宅医療と介護の連携で、安心して快適な老後生活をおくれる和光市をめざします。
- (保育行政)
- ・保育事業の補助金は保育事業者に支給するのではなく利用者に給付する保育パウチャー(利用券)で待機児童解消と質の高い保育をめざします。
- (教育行政)
- ・日本のIT産業を振興するためIT教育を充実し、将来のIT産業の担い手を育てます。
- (行政改革)
- ・全国一律で公務員給与が決められる人事院勧告をやめ地方自治体が自主的に公務員給与を決める人事制度の導入をめざします。



かない のぶお 三無所属

今注目! 和光市のチャンス!!

- 2020東京五輪、オリンピック、パラリンピック両方で射撃競技会場に。「文化」「産業」「人のつながり」を最大化。その後も継続して市内を盛り上げます!
- プロフィール
- 東京都あきる野市にて出生。自衛官の父の転勤に伴い全国各地に移り住む。
 - 和光市に定住し24年。和光が故郷に。
 - 和光二中、県立川越高校、早稲田大学、大東文化大学大学院を卒業。
 - 和光市にて「あんぽ」は法務行政書士事務所を開業。
 - まちづくりのため商工会青年部等、青年団体に積極的に活動中。
 - 自治会活動、消防団活動に従事。
 - 地域の安全安全のため活動中。
 - 予備自衛官として国の安全保障にも携わる。
 - 家族は両親、妻と3人の子。子育て奮闘中。

誇れるまち 和光へ!!

相互に連携する3つの重要政策

「住んで安心・安全なまち」	「住んで楽しいまちの賑わい」	「住みやすいまちづくり」
<ul style="list-style-type: none"> ●(防災・治安維持) <ul style="list-style-type: none"> ・和光市消防団(消防署、警署等)との連携強化 ・市民への防災、治安対策への啓発活動促進 ・危険な道路の維持修繕の徹底 ●(市政情報の公開促進) <ul style="list-style-type: none"> ・市のHP・SNSをより見やすく簡潔にアップグレード ・市政の市民参加への意識啓発事業の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●(産業支援によるまちの賑わい) <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある店舗の誘致をして既存店舗との相乗効果を生み出すことで買物客の増加を促し、賑わいを創出 ・商店主と連携した地域振興の活性化により、中小企業・小規模業の支援 ・創業支援により市内産業を活性化 ●(まちを盛り上げる環境づくり) <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックパラリンピックを最大限活用したまちの賑わいを創出 ・オリパラ終了後も継続してまちの賑わいの持続化 ・和光市に来てくれる人を呼ぶための「おもてなし」意識強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●(子育て支援) <ul style="list-style-type: none"> ・保育園認定こども園の整備で未就学児の待機児童解消 ・学童だけでは足りない小学生の放課後の高学年作りを推進 ・働くママ応援、安心して仕事に行ける環境整備 ・子どもを持ちたい人が持てる環境整備 ●(地域コミュニティの構築) <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協、自治会活動の推進で顔の見える関係構築 ・高齢者が外出しやすくなるための制出 ・世代間交流の場をつくり世代を超えた関係構築 ●(住みやすい街づくり) <ul style="list-style-type: none"> ・安全で洗練のない道路整備 ・2045年ハイパス延伸の推進 ・土地区画整理事業の推進 ・市街地再開発事業の推進



あんぽ のぶお ともひろ 友博

38歳 無所属 行政書士

平成31年4月21日執行 和光市議会議員一般選挙(定数18)

和光市議会議員選挙公報

和光市選挙管理委員会

明日へつなぐ/全ての世代が住み続けたいまちへ

いはら陽輔の4つの主要政策

子育て
真最中!

市議
2期8年
の実績

1 持続的に成長するまちづくり

- 土地区画整理事業、駅前再開発事業の促進
- バス路線の拡大・バス利用の促進
- ドラマ、映画、アニメ等のロケ地の誘致

3 ITを活用した効率的な行政運営の推進

- 定型業務等を代替するAI、RPAの導入
- 文書の電子化、ペーパーレス化の推進
- 電算システムのセキュリティ強化

2 誰もが安心して暮らせる生活基盤づくり

- 元気なうちの介護予防、健康寿命向上の意識醸成
- 障害者の就労支援、定着支援の拡大
- 防災ガイド&ハザードマップの全戸配布及び周知

4 子どもがいきいきと育つ環境づくり

- ひとり親の学習機会の提供及び就労支援
- 学校における既存教科とITの連携
- 保育および学童保育の質の確保・向上

いはら陽輔プロフィール

昭和51年 岡山市生まれ/平成15年 大阪市立大学大学院経営学研究科修了/平成15年(株)富士通システムソリューションズ入社/平成23年 和光市議会議員選挙 初当選現在2期目



いはら 陽輔
無所属

4年間の取り組み実績

- 1 まちづくり・シティプロモーション
道路の美観や路面表の引き直し
バス待ちスポットの設置
ロケーションサービス窓口の設置
- 2 防災
防災ガイド&ハザードマップへの家族連絡欄の記載
市内の河川の治水対策
プロの腕の調査・撤去・改修補助金制度の創設
- 3 福祉
高次脳機能障害・発達障害の周知
コメンティン交流事業を推進
多世代間の交流事業を推進
- 4 ITの活用
マイナンバー導入時のセキュリティ機器の導入
災害を想定した市とのシステムの相互利用
AIやRPAを活用した業務効率化を提案
- 5 子育て支援、教育
待機児童対策、活用型保育ステーションの導入
小規模保育事業所からの園児の転園
児童生徒に対するメンタルケア(心理)教育

市民みんなの福祉は、あなた一人の声を聴くことから。

完全無所属
100%
市民派

市議として2期8年の実績

プロフィール

- 東京大学文学部卒業
- 東京銀行(現三菱UFJ銀行)勤務を経て、結婚と同時に和光市民となる。
- NPO法人こども・みらい・いこう/和光市地域子ども防犯ネット事務局/和光市議会議員2期8年



よ待しこ鳥
無所属

1 子どもたちの人となりが育つまちづくり

- 子どもたちの人となりが育つまちづくり
- 子どもたちの人となりが育つまちづくり
- 子どもたちの人となりが育つまちづくり

2 いくつになってもその人らしく生きることを支えるまち

- 地域包括ケアシステムの推進、医療と福祉の連携、訪問医療・看護の推進、高齢者の住まい確保施策
- 地区社協等による住民主体の支えあいのしくみづくり
- 地域包括ケアや複合的な家族支援に係る人材の育成

3 お互いの多様性を認め尊重しようまち

- チャレンジと地域住民の交流、共生のまちづくり推進
- 性的少数者施策、外国籍市民の支援の充実

4 透明性のある民主的な市政運営の維持、活気ある市民協働のまち

- 公文書管理と活用、市民への公開のしくみづくり
- 成果を実感できる市民参加の推進
- 多様な主体との協働のまちづくり推進、市民による多彩な活動の振興

5 ふだんのくらしの幸せを実感できるまち

- 和光市駅周辺のにぎわいづくり、交流とパリアフリーの促進
- 歴史・文化・産業の資源を活かした観光施策推進
- 小規模企業・商店等の振興
- 市による水道事業の安定した運営の堅持
- 公共施設・公園等の適切な管理と活用、長寿命化等による安全性確保と機能充実
- 緑地と湧水の保全
- ごみ処理広域化に向けた適切な連携の推進
- 受動喫煙対策の推進
- 住民主体の地域防災、実効性ある防災対策の推進

政策

こんなまちをめざして、
全力で取り組みます

市民の
感覚が
大切!



はぎわら圭一
36歳

http://jjjp.jp
はぎわら圭一 和光 検索
または jjjp.jp

若い世代の方々の
政治参加を促進します!

若い世代(20〜40代)の政治離れは深刻です。今、和光で何が問題になっているのか、市議会では何が話し合われているのか、情報発信を増やしていくことが必要です。すべての世代の方々の声が反映される和光市政の実現を目指します。

税金のムダづかいを許さない!

市の支出をひとつひとつチェックし、ムダづかいを徹底的に追及します。現在の和光市の財政は比較的健全ですが、これからさらにより少子高齢化が進み、人口減少社会をむかえます。20年後、30年後も輝き続ける街にするために、削るべきところは削り、足りないところは手厚くなるように、優先度の見直しを行います。うるさいだけの選挙車は使いません。実は、あれにも税金が使われているのです。(公費負担)他にも、ポスターも一人につき3万6255円まで税金でまかなわれます。そんなにかかるとは思いません。私は選挙で税金(公費負担)は一切使いません。すべて自費で選挙活動します。



はぎわら 圭一
36歳

プロフィール
昭和52年和光市生まれ
●学歴
東京理科大学大学院
理学研究科修士課程卒業
●資格
宅地建物取引士
司法書士
●職歴
和光地所(株) 元社員
ワコウホーム(株) 代表取締役社長
●活動歴
(一社)朝霞青年会議所(JC) 元理事長
和光市商工会青年部 元副部長
埼玉県宅地建物取引業協会県南支部 理事
埼玉県宅地建物取引業協会県南支部青年部 副部長
●家族
父、母、祖母、弟、妹

南北格差の解消を目指します!

人口構成の変化と長寿社会を迎え、誰もが健康で安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。環境に配慮し、道路の整備・狭隘道路の拡幅・自治会加入の促進等により、地域ごとに明るい住みよい人の輪の広がりを目指します。

私は下記の内容の実現に努めます!

- 市内の緑地・湧水の保全、半三池跡の水源を代々保全。
- 北インター東部地区のまちづくりに協力し早期実現。
- 政治と経済は表裏一体。小規模事業者の一員として、市内の農業・商業・工業等の連携による産業の進展。
- 農道(砂利道)の舗装化を図り、作物被害の減少。
- 不動産無料相談所を庁内に開設。
- 障がい者・高齢者の方々のフライングディスク競技大会の開催。ワコスポていかができますか?

推薦
和光市議会
衆議院議員
議長
齊藤 秀雄 泰



自民党公認
さいとう 誠
41歳

平成31年4月21日執行 和光市議会議員一般選挙(定数18)

和光市議会議員選挙公報

和光市選挙管理委員会

和光市民60年 ふるさと和光を守る



富澤 けいじ

公明党公認 現1期

平成27年に初当選させて頂き4年間、笹目通りの安全対策をはじめ、ふるさと和光と市民を守る数多くの政策が実現できました。和光を魅力ある街、支え合う街、人が輝く街にします！

富澤けいじが実現しました！

笹目通りの安全対策

事故が多発する笹目通りの小学生通学路に、ガードレール・ポールを設置。青色防犯パトロール車にドライブレコーダー導入。事故時の映像記録だけでなく、地域の危険箇所も発見できます。

富澤けいじが約束します！

① 魅力ある街・和光に！

- 地域産業の活性化・成長支援
- 災害時には避難所になる、小中学校体育館・特別教室にエアコンを設置
- 区画整理等インフラ整備の促進
- 都市農業の保全と支援

② 支え合う街・和光に！

- 子ども・子育て支援の拡充
- 児童虐待根絶へ対策強化
- サポーター・ボランティアの支援
- 高齢者に、振り込め詐欺を撃退する「自動通話録音機」を無償貸与。
- 認知症対策の充実

③ 人が輝く街・和光に！

- スポーツ環境の整備・促進
- 健康寿命の延伸
- 高齢者の多様な社会参加の促進

【富澤けいじプロフィール】

昭和34年和光市生まれ、60歳。和光市立第五小、第二中、城西大川越高、獨協大学経済学部卒。市議1期。妻、二女の4人家族。

憲法を守り、暮らし優先の和光市に

戦争する国づくり反対！



くまが い 二郎

日本共産党

安倍政権の下で、市民の暮らしは大変困難になっていきます。大型公共事業開発重視の市政を変え、その財源を教育・福祉に回せば、子育てや老後安心の生活が送れます。憲法を守り、暮らし優先の福祉や教育重視の市政を推し進めるため、皆さんと力を合わせ引き続き頑張ります。

子育て、教育の負担軽減をします

- 認可保育所の増設
- 子ども医療費を十八歳まで無料化
- 学校給食費の無料化

社会の充実を進めます

- 国保税を引き下げます
- 必要な介護が必要な時に使える制度に

安全・安心のまちづくり

- 学校体育館のエアコンの整備
- 地域防災対策の強化
- 斜面林などの緑地の保全
- 歩行者が安心して通行できる道路整備
- 駅北側のまちづくりは関係住民の声を反映

略歴

○1944年静岡県浜松市生まれ
○埼玉大学教育学部卒 ○元和光市立大和中、第二中、第三中学校の三校に教員 ○市議会議員四期
○総務環境常任委員長歴任

みなさんと力合わせ実現します
消費税の増税ストップ
国保税の引き下げ

くまがい二郎事務所 和光下新倉1-1-48 吉田ビル101号室 電話048-487-8721

郷土愛を育むまちづくり

市民公募委員として9年間行政に参画！

- ◆ 地域活動の中で耳にした市民の皆さまの声を市政に届けます
- ◆ 市民公募委員として行政に参画した経験を市政に活かします

これまでの活動実績に基づいた 関口やすのりの6つの公約

関口やすのりプロフィール

1960年12月14日 東京都北区生まれ(58歳) ●基本理念:平和を愛すること ●最終学歴:金沢工業大学工学部卒業 ●家族:妻、息子 ●職業:会社経営(IT関連) ●趣味:クラシック音楽鑑賞、鉄道模型、読書、和光市民合唱団員、和光市立第四小学校教職員同好会再生の会会員

1 郷土愛を育み文化振興を推進

白子地域の歴史と文化を語り継ぎ、郷土が育んだ文化人童謡詩人「清水かつら」と児童文学作家「大石典」を顕彰し、和光市共有の財産として内外に発信を目的に活動。市内の小学校、中学校、公民館、コミュニティセンター等で講演、音響機演奏等。▶和光市民文化団体「和光白子文化の会」会長

2 市民コミュニティを中心としたまちづくり

▶白子コミュニティセンター管理協力委員会委員
▶和光市民文化センター運営委員

3 和光市のブランド力向上のためのシティプロモーション実施

公園を中心とした、地域コミュニティの活性化とふるさとまちづくり
▶和光市越後山土地区画整理組合・理事(平成27年9月~)
▶越後山・緑まちづくり推進連絡協議会委員

4 超高齢社会に向かい市民が安心できるまちづくり

▶和光市都市計画審議会委員
▶和光市地球温暖化対策実行計画策定委員会委員

5 市民参画による第5次和光市総合振興計画の策定

▶和光市総合振興計画審議会委員・副会長
▶和光市市民参加推進会議委員・副会長

6 郷土資料博物館・農工業観光館等の複合施設化

午玉山遺跡の国史跡指定を目指します
▶和光市文化財保護委員会委員 ▶和光市遺跡調査会・理事



関口やすのり

せきぐち 無所属

世代を超えたまちづくり

●区画整理の推進

公共施設(道路を含む)を整備して住みよい街づくりを地域と共に進めます。

●道路整備

住民の意見を取り入れ生活幹線道路を整備、防災空間の確保、生活環境の改善などを推進します。

●バリアフリーの拡大

障害者や高齢者などが出かけやすい、安全・安心の環境を整えます。

●防災対策の強化

市、自治会、各種団体との協働での災害予防訓練、助け合い組織の充実を目指します。

こじま智子はともに歩む！

お年寄りが安心して喜らせるまち

●生きがい対策

社会に参加し、お年寄りが生き生きと喜らせる生活を応援！

●介護・生活支援

食生活の改善や運動不足解消の支援をすすめ「健康寿命」の向上を図ります。

●医療制度の充実

高齢化社会を迎え、お年寄りが安心してできる医療制度の充実を確立します。

子どもが健やかに生まれ育つまち

●出産・育児支援

妊娠、出産のためのきめ細かな支援。必要に応じた、多様な保育体制を整えます。

●多様な教育の充実

新しい教育スタイル、さまざまな教育プログラムの実現を図ります。

●子どもの貧困対策

全ての子どもが親の経済状況に関わらず、教育など将来に夢をもてる社会の実現を目指します。



こじま智子

(旧姓)野木

こじま智子のプロフィール
昭和41年12月 東京都千代田区生まれ
昭和44年3月 和光市立第四小学校卒業
昭和46年3月 和光市立第五中学校卒業
昭和48年3月 東京大学文学部文芸学系卒業
昭和49年4月 東京大学大学院文学研究科修士課程修了
昭和50年4月 東京大学大学院文学研究科博士課程退学
昭和51年4月 東京大学文学部文芸学系准教授
昭和52年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和53年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和54年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和55年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和56年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和57年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和58年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和59年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和60年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和61年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和62年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和63年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和64年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和65年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和66年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和67年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和68年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和69年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和70年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和71年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和72年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和73年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和74年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和75年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和76年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和77年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和78年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和79年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和80年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和81年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和82年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和83年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和84年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和85年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和86年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和87年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和88年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和89年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和90年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和91年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和92年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和93年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和94年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和95年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和96年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和97年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和98年4月 東京大学文学部文芸学系教授
昭和99年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成00年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成01年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成02年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成03年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成04年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成05年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成06年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成07年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成08年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成09年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成10年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成11年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成12年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成13年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成14年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成15年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成16年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成17年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成18年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成19年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成20年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成21年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成22年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成23年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成24年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成25年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成26年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成27年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成28年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成29年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成30年4月 東京大学文学部文芸学系教授
平成31年4月 東京大学文学部文芸学系教授

平成31年4月21日執行 和光市議会議員一般選挙(定数18)

和光市議会議員選挙公報

和光市選挙管理委員会



赤松 ゆうぞう

創出
刷新 再生



政治には愛が必要

私は昭和41年より和光市新倉に住んでいますが、町は宅地開発で緑が減り、駅北側は人口が急増中、狭い道路で買い物も不便な生活困窮地区です。これからの和光の発展はこの北側の都市基盤を整備し、この南北格差を無くすことにあると考え、議会で数々の提言をしてきました。市民が市政の主役です。市民の知恵と力を合わせ、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組めます。

赤松 ゆうぞう 無所属

■ブログは「赤松ゆうぞう」で 検索

7つの提言

- 「孤立社会」から楽しい「ふれ愛社会」へ
ますますの高齢化、障がい者を地域のみならず支え合う福祉のまちづくり
- 駅北側開発・都市基盤整備の推進
北インター東部地区区画整理事業、市は地権者とともに親身に協議し事業を推進すべし
- 障がい児教育支援 & 教育環境の整備
教育と福祉の一体化、特別支援学級の設置と支援員の配備。福祉器具の助成が必要
- 自然を守り、環境に配慮したまちづくり
大切な緑地の保全、みどりの基金やトラスト制度による緑地保全への取り組みが急務
- 福祉はゆりかご（保育園）から墓場まで
総合子ども園の整備。葬・祭事場誘致と近隣市との共同火葬場の建設に取り組む

プロフィール
議会活動：和光市議会議員2期、総務環境常任委員会委員長、学校建設等特別委員会副委員長
市民活動：和光市環境づくり市民会議会長、和光市総合振興計画審議会委員、和光市環境審議会委員、和光自然環境を守る会会長、NPO志木市精神福祉を進める会理事
職歴：プラスチックの製造技術開発、食品の企画開発、マーケティングに取り組み数々の新商品を開発
家族構成：妻、2男・2女（孫5人）
出身：うどん県（香川）

実績ピカイチ！ 行動ピカイチ！

斉藤かつみプロフィール
昭和31年生まれ、63歳。和光市立新倉小、大和中、朝霞高校、明治大学農学部卒
市議4期。前市議会議員。妻、息子二人の4人

- 行政のムダ削減！ 市民目線の市政を
- 南口駅ビル 北口再開発の推進
- 西大和団地と広沢地区に笑顔あふれるにぎわいのまちづくり
- 災害時には避難所になる、小中学校体育館、特別教室にエアコンを設置
- 高齢者に、振り込め詐欺を撃退する「自動通話 録音機」を無償貸与など、高齢者の安全・安心
- 幼児保育の質確保、待機児童減少、児童虐待根絶へ対策強化
- 子育て世代が安心してできる教育環境
- 市民が安心してできる環境対策

約束します！
斉藤かつみが
新電力会社導入で
市の電気代削減
斉藤かつみの提案で、平成24年より、市所有の31施設の電力を、新電力会社（PPS）に。平成25年度には、電気代が約1300万円削減されました。

市内街路灯のLED化
一昨年より、市内約3300基の街路灯がLED照明に。年間の電気代が1609万円削減。街が明るくなり、昨年の市内犯罪件数も、前年比で165件減少。平成21年12月定例会で、斉藤かつみが提案しました。

これまで4期16年、市内街路灯のLED化や、新電力会社導入等の行政改革で、市の負担を大きく削減できました。これからも行政のムダを削減し、市民目線で市政を行います！



さいとつとむ
かみ 齊藤 現4期

公明党公認 現4期

やさしい未来へ つながる和光へ

松永やすえプロフィール
●昭和43年8月24日福岡県春日市生まれ
●昭和62年4月陸上自衛隊（朝霞）入隊
●平成5年3月出産を機に任期満了退職
●平成11年8月自衛官の夫の転勤で和光市へ（現在、西大和団地に在住）
●平成23年～平成25年
独立行政法人国立病院機構埼玉病院（事務助手）
●平成27年1月～平成28年12月
和光市知的障害者相談員
●家族：夫、娘、息子
●趣味：合唱、鍵盤ハーモニカ演奏

コミュニティ
健康人生いきいきづくり
●介護予防・認知症の発見
健康診断の向上（自期発見・早期治療）
働き方改革、働く女性の応援
スマートフォン・タブレットの取組み
《健康と社会の実現》
自治会加入促進
アレルギーガイドラインの見直し及び研修会の推進
外国人向け「ミ」出しについて
他

防災・防犯
（くらし・安全）
●災害時 避難場所となる
小中学校の防災対応
高齢者等の交通弱者対策
子ども、女性の被害に
遭わない為の地域と連携した見守り
防犯灯増設
迷い人が見つかった後の周知徹底
避難行動支援名簿（NPO）他

子育て・教育
●こどもの居場所づくり
（こども屋敷、学習の場、遊びの場）
特別支援教育の充実
知的・身体・精神等障がいの子の相対支援の強化
児童虐待防止強化
子どもの権利を守るための支援
いじめ問題ゼロへ
待機児童の減少 他

福祉
（高齢者・障がい児・者）
●地域生活支援拠点の推進
（障がい者の自立、家族支援の拡充）
多老・在宅介護
ダブルケア支援の改善
あいさつ運動
障害平等研修（DPE）の推進
医療的ケア児等の地域支援体制の構築
就労支援及び付加価値の
高い事業の展開 他



まつなが
やすえ 無所属・新人

投票日 4月21日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事や旅行などのため投票日に投票所へいけない方は、投票日より前に投票することができます。詳しくは、和光市選挙管理委員会までお問い合わせください。

期日前投票	受付場所	受付期間	受付時間
和光市役所 6階	602会議室	4月15日(月)	午前8時30分～午後8時
イトーヨーカドー和光店 2階	エスカレーター裏特設会場	4月20日(土)	午前10時～午後8時

和光市選挙管理委員会事務局 ☎464-1111

(この公報は候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです。)